



男女共同参画

【問い合わせ】

企画政策課企画調整係

☎ 85-6123

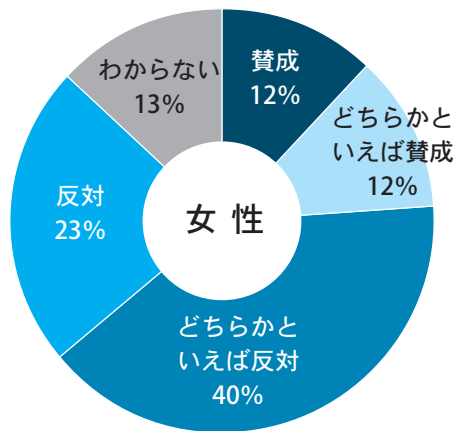
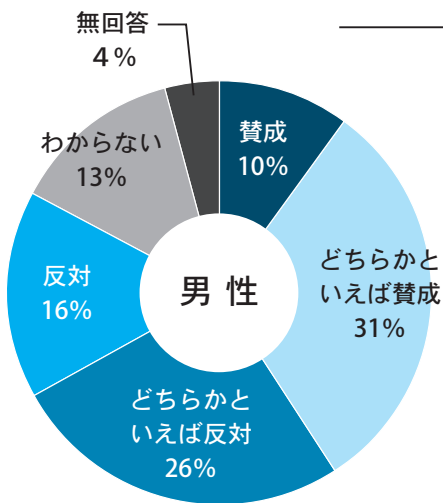
「男女共同参画について考える」

家事、育児は誰の仕事？

平成27年に実施した町民意識調査によると、「夫は働き、妻は家庭を守る」という考え方についてどう思いますか？という設問に対して男性の約4割が賛成もしくはどちらかといえば賛成と回答し、女性は2割が賛成もしくはどちらかといえば賛成と回答しています。このことから、固定的な役割分担意識は現在も少なからず残っており、男女間でも認識の違いがあることがわかります。

Q 「夫は働き、妻は家庭を守る」という考え方についてどう思いますか？

平成27年度 町民意識調査より



厚生労働省の平成27年度「雇用均等基本調査」によると、男性の育児休暇取得率は2・65%（平成26年度は2・63%）であり、その割合は少しずつ増加しているものの、依然として低い割合に留まっています。性別を問わず、誰でも取得できる育児休暇制度。女性だけでなく、男性も育児休暇制度が取りやすい職場の雰囲気づくり、意識づくりが必要です。その子にとって一生に一度しかないタイミング、短期間であっても我が子に時間を向けてみませんか？

イクメンパパにインタビュー！

【第2弾】

子育て支援センター「にこぽーと」で小口さんにお話を伺いました。

Q. 男性の育児休暇取得について

妻は現在、育児休暇をとっていますが、自分は取っていません。まわりにも育児休暇を取る男性はいないですね。育児休暇を取ってみたいとは思いますが、そのように思っている男性は少ないと思います。

もし、育児休暇を取れば子どもと過ごせる時間も増えますし、子育てというあっという間に過ぎるであろう時間の中で、仕事をしながらでは見つけることの出来ない「今しかできないこと」を見つけていくことが出来る貴重な時間になると思います。

小口 亨さん（鮎貝）

奥さん、4歳の息子さんと1歳の娘さんとの4人暮らし



インタビュー詳細は、ホームページ（町政情報一覧）各種計画男女共同参画に掲載されているので、ぜひご覧ください！